

### 静岡市のココが聞きたい

## 総括質問



平成30年6月27日、28日、29日の3日間、18名の議員が個人質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

### SDGsの取組

質問者 池邨 善満 (志政会)

本市はSDGsを積極的に推進しようとしているが、市民にとってどのようなメリットがあるのか。

**答弁** SDGsは、市民一人ひとりの日常生活からかけ離れたものを感じる人も多いが、例えば、ハイブリッドカーの購入は、低燃費という経済性と排出ガス抑制という環境性が両立したものである。

こうした取組が世界中で積み重なれば、SDGsの目標の一つ「気候変動の抑止」につながり、また、省エネ社会の実現も期待できる。

さらに、ハイブリッドカーの販売により企業収益が高まったように、SDGsへの取組は、経済面での発展にもつながるものである。

身構えて何かをするのではなく、誰でもできることを自発的に行うシチズンシップに富んだ市民の皆さんを増やしていきたい。

### 新清水庁舎移転計画

質問者 内田 隆典 (共産党)

新清水庁舎の基本構想策定の検討における建設候補地は、いずれも津波浸水想定区域であった。浸水被害が想定される場所に新庁舎を建設しようとしているが、災害が起こった場合の責任の所在をどのように考えているか。

**答弁** 市民の安心・安全の確保は市の使命であり、庁舎はその活動の拠点となる施設で、災害発生時にも市の業務を継続するとともに、市民やまちを守ることが市の責務であると考えている。

新清水庁舎は想定される最大規模の津波に耐える構造とし、防災拠点としての機能を発揮する耐震性能を確保していく。

### 高等教育のあり方検討

質問者 早川 清文 (自民党)

本市は高等教育のあり方にどのような認識を持ち、静岡市高等教育のあり方検討会にはどのような議論を期待しているか。

**答弁** 人口減少問題だけに目を奪われたり、市立大学設置ありきで検討するのではなく、多角的に論点整理し、本市の高等教育のあるべき姿を描き、実現していく必要がある。日本人のライフスタイルが変化する中、一人ひとりの市民が人生を謳歌するため、「学んで、働いて、余生を遊んで暮らす」シングル・ステージ型でなく、「学んで、働いて、遊んで」、「また学び直して新たに働く」マルチ・ステージ型に対応した学びの環境が必要であり、その論点の一つになるのがリカレント教育である。検討会委員には、リカレント教育を含め、本市に相応しい高等教育のあり方が幅広く議論されることを期待している。

#### 語句説明

#### SDGs (エスディー・ジーズ)

2015年9月に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略称。この目標達成に向けて、国連加盟国は2030年までに「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組むこととしている。

### 学校プールの老朽化

質問者 石井 孝治 (志政会)

老朽化の進む学校プールの現状と今後のあり方について、市はどのように考えているか。

**答弁** 教育委員会が所管する125か所の学校プールのうち、設置から40年以上が経過するプールは58か所ある。この中には老朽化が著しい施設もあることから、施設の維持保全については課題と認識している。

そのため、各学校プールの老朽度合を調査し、あわせて、利用期間や授業などでの利用状況を考慮しながら、学校プールのあり方を研究していく。その際には、学校現場の意見や他都市の事例などについて、広く情報収集していく。

また、平成30年6月に発生した大阪府北部の地震の被害状況から、学校プールを含め、コンクリートブロックを使用した壁や塀の緊急点検を実施しており、改修が必要な場合は速やかに対応する。

#### 語句説明

#### リカレント教育

学校を卒業した後に、最新の知識を習得するため、再び教育機関で学び直すこと。

### わさび栽培の世界農業遺産認定と情報発信

質問者 安竹 信男 (山と町)

世界農業遺産に認定されたわさび栽培をオクシズの地域活性化に繋げるため、世界農業遺産認定記念碑建立等のPRが必要と考えるが、市はどのように情報発信していくのか。

**答弁** 30年度はわさびの魅力を収録した動画を製作し、SNSを活用して国内外に発信する。また、地元民間放送局の番組を通じて、わさび栽培に関する本市の取組を紹介する予定である。

さらに、産業界が一堂に会する「産業フェア」や本市にゆかりのある方を招く「静岡市交流会in東京」など市内外の様々なイベントでPRしていくとともに、本市を訪れた方々にわさびの産地であることを印象強く示せるよう、案内看板等の設置を検討していく。

また、市内に向けては、教育の現場や市民向けの講座等を通じて情報発信していく。

### いじめ防止対策推進法と本市の基本方針

質問者 松谷 清 (緑の党)

これまでに、いじめ防止対策推進法に定義される重大事態が本市でどの程度起きているか。また、市立千代田小学校で起きた重大事態に対応するために教育委員会が設置した静岡市いじめ防止特別調査委員会による調査の中止について、今後どう検証を行うか。

**答弁** 市立小中学校で過去3年間に重大事態と認識した案件は、今回の重大事態を除き11件である。いずれも学校による調査に基づき対応した結果、問題は解決し、静岡市いじめ防止特別調査委員会による調査に至ったケースはない。

今後の検証については、文部科学省のいじめの重大事態の調査に関するガイドラインに照らし合わせ、平成30年7月から調査の進め方を振り返る会議を持つなどして課題を明らかにし、30年度中には対応の見直しを行う。

### 森林文化都市

質問者 尾崎 行雄 (自民党)

静岡市らしい森林文化都市を展開していく考えはないか。

**答弁** 静岡市らしい森林文化都市とは、森林が健全に保たれ、市民の皆さんが森林と触れ合い、山や木に対する愛着や誇りを持つことにより、山に住む人と町に住む人、双方が支えあうような好循環な都市が成立することと考える。これは、静岡市オクシズ地域おこし計画に掲げる将来像「山村と都市が共生・共有するまち静岡」に合致するものである。

静岡市らしい森林文化都市の実現には、森林整備とあわせ、木材の利用促進に関する施策に加え、市民の皆さんが本市の森林に誇りや愛着を持つとともに、本市を訪れる人々にも広大な森林を有する恵み豊かな都市であると感じてもらえるような施策をそれぞれ展開していく必要があると考えている。



伝統的なわさび栽培

#### 語句説明

#### いじめ防止対策推進法に定義される重大事態

いじめにより児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた、あるいは児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。